全15回シリーズ

未来への地図

㈱日本コンサルタントグループ
建設産業システム研究所 VE研究室長
加藤 浩之 氏

建設業のVE ⑧

VEの具体事例③

下請業者の価格競争力アップへ
30～50％の入替え等

第1回から第5回まで、VEの歴史からVEの展開方法まで触れさせていただいた。今回でも、具体事例をQ&A方式でご紹介する。筆者が、実施してきた具体例である。参考にしていただければ幸いである。

【Question】

下請業者の競争性を高めるために新規業者を開拓中ですが、なかなかこれまでの業者の刺激になるような価格が上がってきません。当社としては、良い価格ならば初めての会社でも発注することを伝えているのですが。どこに問題があるのでしょうか。また、どうすればこの壁を破ることができるのでしょうか。

【Answer】

価格競争力を高めるための有効な手段として、新規協力業者の採用が声高に叫ばれていますが、成功例は思いのほか少なく、困惑している企業がほとんどです。新規業者を採用すれば、一方で従来の協力業者を排除することになりますが、ゼネコンと協力業者のきずなは予想以上に強く、「思いつきレベルの会社方針」や、「購買など一部署の改善活動」ではとても手に負えるものではありません。前述の失敗企業の大部分がこのような「腰の引けた改善活動」にその原因があります。

新規協力業者の採用は企業の体質そのものを改革する一大事業です。従って経営者から営業・設計・積算・購買・工事・総務など全職員が心を一つにして取りかかる大改革になります。ご質問の上手く成果のでない企業さんも、ここのところを思い違いしているのではありませんか。社長が自ら新規業者を探して歩かれましたか。一部署に命じて「やらせてみた」のではありませんか。

紙面も少なくなりましたので、筆者の知る成功例に共通の要素を以下に列挙しますので腹を括って取り組んでください。やる気になれば必ず成功します。

《準備作業》

①まず、関連部署の合意として「当社の理想的な協力会のビジョンを描く」

②上記を関連部署長と徹底的に検討し、共通の価値観として共有化する

③上記を具体化し、半年から1年をかけ工種別の新規優良業者（候補）を選別する

④社長以下幹部職員が上記候補業者に誠意を込めて、協力会への入会をお願いする

《改革の実践》

⑤まず、工事部に改革着手を宣言し、全面的な了解のもと、共同作業に入る

⑥次に、協力会に改革着手を宣言すると共に、「生き残りの条件を示し」、2～3年で全面的にいれかえる旨通達する（生き残り3カ年計画を提出させ進捗状況を評価・残留）

⑦モデル現場を作る。特に労務三役は一作業所一役採用を原則とし、鳶土工中心・鉄筋中心、型枠中心のモデル現場を各2作業所ずつ運営し、順次採用作業所を増やしていく

⑧外注業者は鉄骨以外は無制限に採用入れ替えを行って良い（鉄骨はノウハウあり）

⑨2、3年で30％～50％の業者を入れ替えれば、従来の協力会もついてくる

全8回にわたり、建設業におけるVEについて述べさせていただいた。ぜひ、自社でも取り組みこの厳しい競争環境を勝ち残る材料としてもらえれば幸いである。

今回ご紹介したコストダウンの具体策については、㈱日本コンサルタントグループが毎週1回配信しているメールマガジン「e－建設経営通信」にも掲載されております。申し込みアドレスは、http://www.niccon.co.jp/kensetsu/にアクセスし、メールマガジン配信登録欄から登録ください。また、本シリーズについてのご質問ならびにお問い合わせは、㈱日本コンサルタントグループ建設産業システム研究所（☎03・3950・1178）までお問い合わせください。

（終わり）

全国生コンクリート工組連
JIS 民間移行へ対応急ぐ

全国生コンクリート工業組合連合会（青木吉夫会長）は、平成17年度のJISの民間移行を踏まえ、生コン業界としての対応の検討を急いでいる。既に新認証制度検討委員会（委員長・八田常一京都工組理事長）を設置、この10月までに2回会合を開き、新JIS認証登録機関の設立を含めた複数の選択肢を基に議論を進めている。15年度民間移行に備えたい考えだ。

JISの民間移行は、官民の役割分担の見直しを掲げた平成14年3月の閣議決定を受け、日本工業標準調査会が「新時代における規格認証制度のあり方検討特別委員会」を設けて検討を進め、この6月に報告書を公表、新制度の骨格が示された。

全生工組連では、こうした動きを踏まえ、「生コン業界も情報収集の強化」を目的とした「JIS対応検討委員会」を設置し、「生コン業界の意見を反映させるべきだ」という考えから、何らかの対応が必要と判断。8月末から9月初めにかけて全国10地区で説明会を開くとともに、9月8日に新認証制度検討委員会を設置、本格的な検討作業をスタートさせた。

今のところ、①新認証登録機関を単独で設立する②既存認証機関のいずれかとJVもしくは業務提携③全生工組連としての3案の対応を想定。

委員会は10月の第2回会合で、八田委員長を中心としたワーキンググループを設置し、新認証機関の運営計画検討を進めている。11月17日の第3回委員会で検討成果を示す予定だ。

ただ、当初、今夏に調査会が示すとしていた分野別ガイドラインの作成が遅れていることなどから、新認証機関の運営計画を策定する上で重要な"ものさし"となる認証・検査の頻度や、料金体系などが未確定。このため、全生工組連としては議論の出口が見えにくくなっているのが現状という。

日吉町補正予算（4053万円）
日置・日新小 屋体屋根を改修

日置郡日吉町の15年度一般会計補正予算は4053万3000円を追加、累計総額34億3079万3000円となった。

主なものは、小学校管理費に工事請負費2900万円を計上して、日置小学校と日新小学校の屋体屋根が老朽化に伴い雨漏り等がすることから改修を行う。

関連予算内訳次の通り（㊐工事請負費 ㊥委託料 ㊙需用費、単位千円）。

【総務費】

▽衆議院議員選挙費＝㊥270（ポスター掲示板設置）㊙1、668（修繕20）

【教育費】

▽小学校管理費＝㊐29、000（日置小・日新小屋体屋根改修）㊥900（設計監理）

▽幼稚園費＝㊐4、100（防水）

あす、県海岸保全基本計画検討委

県海岸保全基本計画検討委員会は30日午後1時30分から、鹿児島市の県庁で第4回の会合を開く。

阿久根建設社長 古家康博氏が死去

古家康博氏（阿久根建設㈱代表取締役社長）27日午前1時7分、死去した。享年83歳。告別式は29日午前11時から、阿久根市の総合葬祭ルミエールあくね（☎0996・64・6444）で執り行う。

氏は昭和16年4月20日生まれ。坂出工業高等学校を卒業後、35年から東京重機工業㈱、大阪空港事業㈱に勤務。58年に阿久根建設㈱に入社、60年から代表取締役副社長、平成8年から現職に就任、役員として今日の阿久根建設を築いた。

また、団体関係では、昭和61年から63年まで県建設業協会出水支部監事、平成2年から10年まで理事、14年から副支部長を務め、建設業の発展に尽力した。

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴	北やや強く	0％ 0％
大隅	晴	北やや強く	0％ 0％
種子屋久	晴	北西やや強く	0％ 0％
奄美	晴	北やや強く	10％ 0％

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
30	木	☀	20％	23° 11°	☀	20％	25° 19°
31	金	☀ 時々 ☁	20％	25° 13°	☀ 時々 ☁	20％	26° 20°
1	土	☁ 時々 ☀	30％	26° 16°	☀ 時々 ☁	20％	26° 20°
2	日	☁ 時々 ☀	30％	26° 17°	☁ 時々 ☀	30％	27° 21°
3	月	☀ 時々 ☁	20％	26° 17°	☁ 時々 ☀	30％	27° 22°

《概況》向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多いが、九州南部では期間の中頃に、奄美地方では後半に前線の影響で曇る日がある。

行政動静

10月29日（水）

【県庁】
- 知事……出張
- 副知事……在庁
- 土木部長……在庁

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……在庁
- 後田副所長……午前 庁外、午後在庁
- 赤星副所長……午前 庁外、午後在庁

【川内川河川事務所】
- 所長……在庁

【大隅河川国道事務所】
- 所長……在庁

【鹿児島港湾・空港整備事務所】
- 所長……出張

【志布志港湾事務所】
- 所長……在庁

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……庁外

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。